

口腔外科

初期研修～後期研修（レジデント）

口腔内のスペシャリストへ

顎口腔領域に生じる疾患への、基本的、専門的知識と技術を習得し、診療が適切に行えること、そして臨床研究能力の習得を研修の目的としています。

医療法で標榜を認められている歯科の5つの専門医の1つ ー口腔外科ー

当科は公益社団法人日本口腔外科学会認定「研修施設」

指導医：4名 専門医：1名 認定医：9名 (2021年5月1日現在)

まずは口腔外科認定医を目指し、包括的歯科診療を行うスペシャリストの育成を行っていきます。その後、更なる口腔外科に関する専門的知識と豊富な診療経験を兼ね備えた口腔外科専門医の取得を目指していきます。専門医とはスーパードクターではなく、「それぞれの診療領域において適切な教育を受け十分な、診療技能を修得し、患者から信頼される標準的な専門医療を提供できる医師」とされている。

・口腔外科を学ぶことのメリット

正確な初期診断、その後の専門治療まで包括的な治療ができる。

難症例の診断・治療が行える。

智歯(親知らず)など顎の骨の中に埋まっている歯の抜歯
全身疾患があり一般の歯科医院では困難な歯の抜歯
虫歯や歯周病が進行して起こる顎骨炎や蜂窩織炎
嚢胞(膿の袋)性病変
口腔粘膜疾患(口の中の粘膜にできる様々な病気)
腫瘍(悪性・良性)
口蓋裂などの先天異常
顎関節症
顎の骨の骨折や口の裂傷などの外傷性疾患
顎変形症

And more...

主な研修内容

指導医の介助

診断・治療計画

難抜歯及び外科手術(様々な難症例)

手術室での助手(顎変形症、腫瘍手術など)

マイクロスコープを用いた外科治療 他

指導医の下での治療

簡単な抜歯から難抜歯まで

小外科手術(嚢胞摘出など)

治療方針の立案 他

症例検討・報告、論文抄読など